

ロータリー財団地区補助金プロジェクト報告

広島原爆養護施設「矢野おりづる園」に車椅子を寄贈

広島東ロータリークラブ

ロータリー財団委員長 下原 實

<地区補助金申請の経緯>

- (1) 2010年 2月 19日、次年度高木一之会長から会長賞受賞のため、国際奉仕部門で地区補助金を申請することによって 全体で25点となり、受賞資格の要件が満たされるという提案を受ける。
- (2) 2010年 3月 10日、地区補助金申請のための次年度R財団・社会奉仕合同委員会を開催。
- (3) 国際ロータリー第2710地区2010～11年度地区補助金は全体で360万円、申請期間は3月1日～4月30日までで、申し込み順20件までとされ、1件あたり17～18万円の金額に分割される。当クラブは必要書類を作成、準備し3月次年度理事会で承認の後、3月24日に地区事務局へ申請を行った。
- (4) 2010年 8月 2日、地区経由にてR財団日本事務局から申請された地区補助金について、地区事務局より支給決定通知が届く。地区内で30件の申し込みの内、3番目に承諾された。

<地区補助金プロジェクトの実施>



2010年10月6日(水)15:30より広島原爆養護ホーム「矢野おりづる園」にて車椅子の贈呈式が行われた。贈呈式には、矢野おりづる園から柿木田勇施設長、村田伸夫本部事務長、松永幸枝統括主任、坂本明德生活相談員、当クラブから高木会長、堤田幹事、瀬川国際奉仕理事、鶴野政人社会奉仕理事、下原R財団委員長、広報・会報委員会代理として、三上副幹事が出席し、高木会長から「多機能介助式車椅子6台」の目録が柿木田施設長に手渡され、柿木田施設長からは礼状が交付され、「今までとは違った多機能式で便利な車椅子を戴き感謝いたします。大事に使用させていただきます。」と謝辞が述べられた。

それから、6名の入所者に早速試乗いただいたところ、多機能の便利さに大変喜んでいただいた。続いて園内の施設を案内して戴き、養護ホームの内容を良く理解することができた。



また、贈呈式の様子は中国新聞社より取材を受け、翌日10月7日の朝刊26面に掲載していただき、一般の人々にロータリーの活動を少しでも周知して頂いた事と思っている。

平成22年10月7日 中国新聞朝刊

矢野おりづる園に
車いす6台を寄贈
広島東RC

広島東ロータリークラブは6日、広島市安芸区の原爆養護ホーム「矢野おりづる園」に車いす6台を贈った。

高木一之会長(70)たち6人が同園を訪ね、柿木田勇理事長(65)に目録を手渡した。高木

会長は「車いすが不足していると聞いた。被爆で苦勞された方々を見せたい。

車いすに試乗する入所者
介助の方が楽になれば」と話した。

6台は、いずれも折り畳み型の介助式。ひじ掛けや足置きを動かすことができ、乗り降りがしやすくなっている。入所者6